

第3次滝川市子どもの読書活動推進計画【概要版】

2024(令和6)年度～2028(令和10)年度

基本方針

滝川市のすべての子どもが読書を通じて様々な知識を身につけるとともに、豊かな想像力を育み、感性を磨き、自ら考え判断する力を身につけられるよう、子どもの読書活動を推進します。また、図書館や幼稚園・保育所、学校などをはじめとした子どもの読書に関わる機関が、地域や企業、団体などと連携し、一体となって子どもの読書環境の整備に努めます。

目標

- ◆家庭・地域・学校などを通じた、社会全体での子どもの読書活動の推進
- ◆子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
- ◆子どもの読書活動に関する理解と関心の普及
- ◆読書活動を通じた、子どもたちの「学ぶ力」を育む取り組みの推進
- ◆多様な子どもたちのニーズに対応できる資料の充実
- ◆ICT（情報通信技術）の活用による読書環境の整備

対象

- ◆0歳前から高校生
- ◆保護者
- ◆子どもと関わる大人

実施主体

- ◆家庭
- ◆地域
- ◆学校
- ◆図書館
- ◆幼稚園・保育所・託児所
- ◆子どもと大人が集まる施設

重点的な取り組み

- ◆読書環境の整備
資料の充実や貸出事業、ICTの活用により、より良い読書環境を整備します。
- ◆読書の習慣化
読み聞かせの啓発や読書に関わるイベントの実施などにより、読書の習慣化を促します。
- ◆学ぶ力を育む
図書館と学校や地域などが連携し、子どもの学びをサポートします。



0歳前



特性

おなかの赤ちゃんに読み聞かせをすることで、生まれてきた赤ちゃんがお母さんの声を認識したり、お母さん自身もゆったりとした時間を持ち、心の安定が図られます。

方針

出産準備や育児に関する本を充実させ、保護者の図書館利用を促すとともに、子どもの読書の大切さを伝えます。

アクションプラン

- ◆読み聞かせの啓発・実施
- ◆おすすめの本の紹介
- ◆出産や育児に関する本の充実など

乳幼児



特性

- ◆乳児期◆
大人からの語りかけによって、言葉を獲得していく時期です。読み聞かせを通して、親子の絆を深めることができます。
- ◆幼児期◆
言葉が豊かになり、色々な分野の本に興味を示し始め、自らの力で本を読むことへとつながっていく時期です。

方針

ブックスタート事業や、児童書・読み聞かせ機材の充実により、子どもたちが家庭や保育所・幼稚園などの身近な場所で様々な本と出会い、親しむことができるような環境づくりに努めます。

アクションプラン

- ◆読み聞かせの啓発・実施
- ◆おすすめ本の紹介
- ◆ブックスタート事業
- ◆「どこでもドクショ。」事業
- ◆児童書や読み聞かせ機材の充実
- ◆おはなし会の実施など
- ◆身近な場所への本の貸出